TOKARA

広報としま

6月号 No.197

2012 July

http://www.tokara.jp/

5／16（水）から　肥後正司　氏が　新　十島村長として就任されました。

トカラ大名たけのこ初出荷！

４月９日（月）、鹿児島中央卸売青果市場にて、早出しトカラ大名たけのこの出荷式が行われました。この日は、２７０ｋｇのたけのこが出荷され、最高価格は１kg１，３００円となりました。５月現在でトカラの大名たけのこは合計３，２００ｋｇが出荷されております。

たけのこの出荷数は年々増加傾向にあり、今後も伸びていきそうです。青果市場でのこうしたトカラ大名たけのこの出荷式は、今回で二度目であり、市場では前回よりもトカラの大名たけのこの認知度が高まっていたように感じます。これからもどんどんＰＲしていきます。

新村長　就任挨拶

私は、去る４月29日執行されました十島村長選挙において、公選によることなく38年ぶりの無投票という結果で、第30代村長として５月16日から就任させていただきました。改めてその職責の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いをしております。

就任に当たりまして、村民の皆様をはじめ本村と関係の深い多くの関係各位の皆様に一言ご挨拶申し上げます。

十島村は、有人７島と無人５島を有し、日本一長い村として、地理的にも特殊な環境下にある村です。

それ故に固有の文化、多様な祭事、郷土芸能が継承され、また多くの植生物が天然記念物の指定を受けているところでもあります。

私は、先達の皆様が築いてこられたこれまでの十島村を、誇りのもてる故郷として次の世代にしっかりと繋いでいきたいと考えております。

私は、今回の選挙で「７つの夢づくり、島づくり」というキャッチフレーズで、次の７つの主要政策項目を掲げました。

「一　人口対策を最重要課題として地域住民と一体となって取り組みます。」

「二　基幹産業である農畜水産の強化と観光の活性化を図ります。」

「三　子供や高齢者が希望の持てる少子高齢化対策を強化します。」

「四　望まれる航路体系を確立し、交通ネットワークの整備充実を図ります。」

「五　情報通信基盤の普及促進を図り地域の情報格差の是正に努めます。」

「六　住民が安心して暮らせる生活環境の整備として港湾漁港、道路、飲料水、環境衛生、消防防災、医療、福祉、文化、教育などを積極的に推進していきます。」

「七　住民ニーズに応じた行政機能を図り、健全な行財政運営の確立や自治コミュニティなどの機能強化に取り組みます。」

これらは、どれをとっても不可欠で、誠実に確実に実行していくことが大事であります。

中でも、定住対策の促進は、村の存亡をかけた一大事業と思っております。

ＵＩターンの転入者を地域みんなで受け入れ、本土復帰時約３，４００人在村した人口に遠く及ばないまでも、かつての活気あふれた十島村に近づくことを夢みるものであります。自分の島だけでなく、それぞれが十島村民であると自覚し、ふるさと十島村の発展のために建設的な意見を出し合い、協力し合っていける和やかな十島村にすることを切望するものです。

私は、村政の主役は住民であるべきと常々思っております。

住民総参加による村づくりを村政運営の基本理念として、常に住民の側に立ち、住民と行政が一体となって、明日への知恵を出し合い明るく開かれた行政を目指していきます。

そして十島村に住んでよかったと実感できる村政を築いていくことが、私の使命と思い、村長としての職責を果たしてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

皆様のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げ、就任のご挨拶といたします。

前村長　退任挨拶

退任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

任期満了に伴い5月15日を以って十島村長を退任いたしました。

皆様方には、長きにわたり公私共に格別のご支援、ご高配を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

顧みますれば、昭和27年1月役場入りして以来、職員として39年、引き続き助役2期8年、平成12年3月から村長という重責を担い3期12年通算して59年の歳月を村政一筋に微力を尽くして参りました。

中でも忘れ得ないのが教育委員会時代、映写機を担ぎ島々を渡り映画を上映したり、厚生係時代は、国民健康保険法が実施されておらず住民の医療費は、生活保護法による医療扶助の適用を受るため、定期船が入港するたびに患者を福祉事務所へ案内するなど、今では考えられない仕事をして参りましたが、やり甲斐のある仕事でした。

村は、昭和27年米軍政府支配から本土復帰を果したものの財政難に喘ぎ職員の給与も満足に、支給月に決った額が払えない脆弱な状況でありました。

昭和34年には、いよいよ財政が破綻し、財政再建団体に転落、財政赤字の解消に乗り出し、最悪の行財政運営を強いられることとなり、何をしようにも、県と相談しないとできない自治体となり、従って村の振興計画も思うように進まず、ひたすら財政再建に集中、そのお蔭で計画より三年早く昭和40年3月には、苦しさを克服して再建に漕ぎつけ、その年から本格的な離島振興法に基づく事業の促進を計り各島の給水施設や電気事業の導入、へき地診療所の建築、口之島西之浜漁港の修築、中之島港の改修等々が始まり、村に活気を取り戻す機運が出て、その後は順風満帆、村の財政は厳しいが、計画に基づき、辺地対策事業債や過疎対策債といった法律を活用して、数々の功績が構築されております。

これは、ひとえに先人たちのなみなみならぬ努力の賜物であって、私たちは今、それを受け継ぎ着実に実績を積み上げていると自負しております。

自治体が村の振興を図るには、村長だけの力では何もできません。ちなみに村長は舵取り役であって、議会、職員、地域住民の理解と協力があって始めて目標が達成できるものであります。また、村長に就任一期目は、議会構成の関係で大変難儀な行財政運営を強いられ、特に現在就航中の定期船の就航にあたっては、一年有余にわたる試行錯誤を繰り返しながら試行運転を実施して、週三便体勢の確保に執念を燃やしましたが、結果は、現行の週二便と年間12便の臨時便の確保で決着し、当初の計画どおりにはならなかったものの議会でも議論を尽した結果であって財政の厳しい本村にあっては止むを得ないことと考えております。

また、平成21年に端を発した畜産組合における不適切な事務処理で国の会計検査を受けるはめになり、多額の返納金を生み出したことは、あってはならない、大いに反省すべき事柄で誠に残念な結果で二度と繰り返してはならない不祥事と心しております。

一方、政策面においては、本土復帰50周年記念式典、中之島診療所の医師常駐、防災無線通信設備やトカラ皆既日食、及び列島マラソン、トカラいきいき教室、ブロードバンド設備、急速冷凍庫設備、定住促進、高尾農場開設、荒廃農地対策、空家住宅対策、本土復帰60周年記念式典など数々のハード・ソフト事業の施設整備を進め、村の活性化に向って前進していることは、とりもなおさず関係各位の努力の結果であり、ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

かねて申し上げておりますように本村は、多島村という宿命と、条件不利地域であり、財政効率が非常に悪く資金配分もままならない現状にあって、まだまだやり残した課題が山積しています。

これからは、新しい村長を中心に英知を結集し、島々がある限り、そしてそこに人が住んでいる限り、国土の保全と村の振興に、なお一層努力を図っていただきたいと存じます。冒頭申し上げましたように、長きにわたる村政遂行に大過なく大役を果たすことができました。深く感謝を申し上げます。

最後になりましたが、十島村のますますの発展と併せて、村民ともども皆さんのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ退任の挨拶といたします。

平成24年度十島村全会計
当初予算の概要をお知らせします。

一般会計歳入歳出予算額 25億5,356万円
～前年度より3億3,637万円減～

心豊かな、活力に満ちた、
安心安全な村づくりに向けて

平成24年度の村政運営の基本となる当初予算が、3月定例会で決定し、一般会計当初予算は25億5，356万円で、前年度比11.5％の減額となりました。

本村の平成24年度一般会計歳入歳出予算額は、前年度当初予算と比較して、金額で3億3，637万円、率にして11.5％の減と前年度を下回る予算編成となっています。この減少の大きな要因は、村長選挙を控えた（予算編成時点で）骨格予算であることが大きな要因で、普通建設費で前年度比2億2，236万円（17.9％）の減が大きく影響しています。

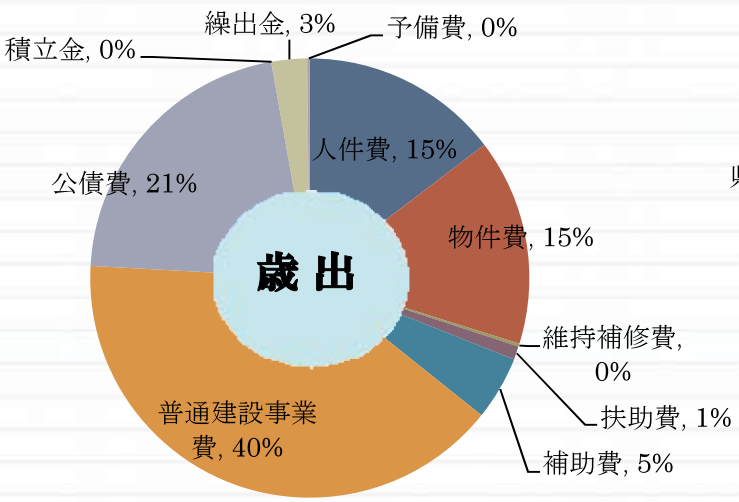
そのため、一部の政策的事業につきましては、6月の補正予算で計上することとなることから、6月補正の財源を地方交付税や繰出金等で財源調整しています。

【会計別年度比較表】

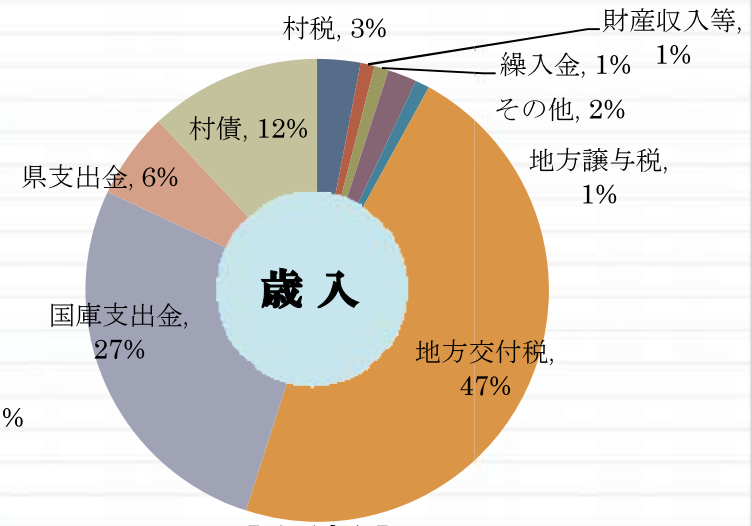
（単位：千円・％）

会　計　名	平成24年度	平成23年度	増　減　額	増　減　比
一　般　会　計	2,553,567	2,889,944	▲ 336,377	▲ 11.5
国民健康保険特別会計	85,298	88,655	▲ 3,357	▲ 3.8
船舶交通特別会計	832,815	843,573	▲ 10,758	▲ 1.3
介護保険特別会計	76,913	82,592	▲ 5,679	▲ 6.9
介護サービス特別会計	1,204	1,300	▲ 96	▲ 7.4
簡易水道特別会計	53,087	66,149	▲ 13,062	▲ 19.7
後期高齢者医療特別会計	7,209	6,774	435	6.4

【一般会計歳入歳出内訳】



【歳出性質別内訳】



【財源内訳】

前年度比３億3637万円（11.5％）の減。　～骨格予算であることが要因～

【財源内訳表】

（単位：千円）

項目		平成24年度	平成23年度	増減
自主財源	村税	64,085	67,938	▲3,853
	分担金及び負担金	5,631	2,403	3,228
	使用料及び手数料	56,638	54,951	1,687
	財産収入	12,476	12,128	348
	寄付金	901	701	200
	繰入金	18,378	90,209	▲71,831
	繰越金	1	1	0
	諸収入	13,712	34,592	▲20,880
自主財源計		171,822	262,923	▲91,101
依存財源	地方譲与税	24,480	25,323	▲843
	利子割交付金	174	235	▲61
	配当割交付金	44	35	9
	株式譲渡割交付金	10	1	9
	地方消費税交付金	4,841	4,218	623
	自動車取得税交付金	3,164	3,922	▲758
	地方特例交付金	500	2,000	▲1,500
	地方交付税	1,203,740	1,295,400	▲91,660
	交通安全交付金	0	0	0
	国庫支出金	693,991	667,661	26,330
	県支出金	140,601	332,416	▲191,815
	村債	310,200	295,810	14,390
依存財源計		2,381,745	2,627,021	▲245,276
合計		2,553,567	2,889,944	▲336,377

【性質別比較表】

（単位：千円，％）

項目	平成24年度	平成23年度	項目	平成24年度	平成23年度
人件費	373,941	338,427	普通建設事業費	1,023,342	1,245,710
前年度比（％）	10.5	8.4	前年度比（％）	▲17.9	14.4
物件費	387,681	443,804	公債費	545,156	526,309
前年度比（％）	▲12.6	32.9	前年度比（％）	3.6	▲9.1
維持補修費	5,767	5,477	積立金	930	50,700
前年度比（％）	5.3	7.4	前年度比（％）	▲98.2	▲16.5
扶助費	25,188	30,230	繰出金	65,207	91,955
前年度比（％）	▲16.7	14.3	前年度比（％）	▲29.1	▲6.1
補助費	120,218	151,429	※　災害復旧費・貸付金・予備費を除く。		
前年度比（％）	▲20.6	29.3			

平成24年度　主な事業一覧

- ブロードバンド施設管理
- 地域振興推進（地域づくり）
- 地籍調査
- TV共同受信施設管理
- 鹿児島県知事選挙
- 定住促進対策事業
- 健康増進事業
  （検診、相談及び訪問指導等の実施）
- 住民医療費助成事業
- 高齢者特別優待乗船券
- 特定診療科巡回診療
- ゴミリサイクル推進事業
- 浄化槽清掃管理
- 就業者育成奨励金交付事業
- 産業振興支援補助事業
  （出荷経費支援等）
- 中之島地区農業経営近代化事業
- 人口授精推進事業
- 離島家畜衛生技術向上対策事業（家畜衛生補助員の育成・医薬の処方）
- 遊休農地対策事業
- 補助林道舗装事業
- 補助道路整備
- 港湾建設
- 離島高校生修学支援
- 特定離島（山海留学）
  （留学生を受け入れる里親への助成）
- 特定離島（トカラ観光プラン）
  （ボゼツアーを含む２ヶ島ツアーの予定）
- 特定離島（飲料水施設整備）
- 第６回トカラ列島島めぐりマラソン大会

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。

春爛漫の心地よい季節となってきた４月。口之島・中之島・諏訪之瀬島・小宝島・宝島の各島小中学校に、希望に満ちた、新入学生がそれぞれ入学されました。
元気いっぱいの新入学生徒、児童をご紹介します。

宝島小学校１年
寺田　碧海

わたしは、てらだあおみです。わたしは、いちりんしゃにじょうずにのれるようになりたいです。がんばります。

平島小学校諏訪之瀬島分校
１年　山中　悠暉

ぼくが、がんばりたいことは、すぽーつで、さっかーややきゅうやさかなつりです。またべんきょうです。とくにずこうをがんばりたいです。ともだちとなかよくしたいです。

口之島小学校１年
高本　宇宙

ぼくの名まえはたかもとそらです。１年生になってがんばりたいことはきゅうしょくをぜんぶたべることとさんすうをがんばりたいです。さんすうではかずをかけるようになったり、けいさんができるようになりたいです。

中之島中学校１年
小林　良介

中学校からは、バドミントンの大きな大会があります。その大会で一つでも多く勝つことです。そのためには、もっともっと練習をしなければなりません。だから、バドミントンの練習を頑張ります。

口之島中学校１年
日高　裕星

中学生になっての頑張りたいことは、言葉で自分の気持ちを相手にわかりやすく伝えるために相手の意見を聞いたり、読書をしたい。運動では、トカラ列島島めぐりマラソンに参加して７つの島を完走できるように体力をつけていきたい。

宝島小学校１年
平田　舞佳

わたしは、ひらたまいかです。わたしは、かんじをはやくならって、はやくかきたいです。がんばります。

宝島中学校１年
伊地知　麻鈴

私は宝島小中学校の最高学年となるので、小学生のみんなを引っ張っていきたいです。また先生の話をよく聞き、授業の内容がしっかりと頭に入るように、勉強に励みたいです。そして、何事にも集中できる強い心と体に成長できるように、運動などにも積極的に取り組んでいきたいです。さらに、宝島小中学校のみんなが、仲良く楽しく過ごしやすい学校になるように頑張っていきたいです。

宝島中学校小宝島分校１年
宮山　雄輝

僕の目標は「思いやり」です。中学校では、学習する内容も難しくなるだけでなく、自分の行動に責任をもち、自分の夢に向かって努力していく場所であると思います。今、自分がやらなければならないことを常に考え、積極的に行動できる力を身につけるとともに、中学生として、先輩方と一緒に分校をしっかりとまとめられるよう「思いやり」の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

平島中学校諏訪之瀬島分校
１年　伊東　聖真

まだ、中学校での勉強に慣れていませんが、勉強もスポーツも頑張ります。勉強では特に数学や国語を頑張りたいです。

平成２４年度　各島教職員の異動状況をお知らせします。

転出	口之島	中之島	平島	諏訪之瀬島	悪石島	小宝島	宝島
小学校	日高　松行（定年退職） 永野　美和子	肥後　雅孝 吉岡　千明	星野　一彦	田淵　尚隆 廣津　亜弓 若松　美由紀	上奥　剛 東郷　有家	里中　卓麻 岡元　寿美礼 大迫　聖子	中養母　由美子 吉川　歩美 沖浦　由起
中学校	満薗　誠	建野　真哉 荒木　亜希美	山方　結加里 竹下　まみ 東　好美	白濱　啓明	片野田　広一	山　宗功 高田　幸治	
転入	口之島	中之島	平島	諏訪之瀬島	悪石島	小宝島	宝島
小学校	法花津　武正 本石　智子 本坊　晋之介	池邉　貴康	大山　智子	出水　明美 楠元　ありか 満木　遥	林　眞平 宮北　絢香	下戸　勇介 鶴田　美穂 河内　洋紀	池田　恵美 片平　美希
中学校	永吉　康弘	竹内　慶司 福永　夕貴	荒木　亜希美	山中　一樹	野本　正樹	山元　裕之 南　亜梨沙	

※敬称略

おめでとうございます！

春の訪れを感じはじめた3月。
口之島、中之島、平島、諏訪之瀬島、小宝島、宝島では、夢と希望に満ち溢れた8名の生徒が、学び舎を巣立っていきます。

卒業生8名は、各学校や各地域で学んだ多くのことを胸に、それぞれの夢、目標に向かって大きく羽ばたいてもらいたいものです。

ここでは、今年の卒業生8名をご紹介します。これからも頑張ってください。

平島中学校３年
日高　明寿香さん

私は、無事に卒業の日を迎えることができました。ここまで過ごしてこれたのは、両親、先生方、地域の方々、友達みんなのおかげだと思い、本当に感謝しています。これから私は、15 年間住んできた島を離れなければなりません。さびしい思いもありますが、自分の夢の実現に向けて、日々努力していきたいです。

口之島中学校３年
肥後　葵衣さん

十島村の皆さん，役場の皆さん，教育委員会の皆さん，お世話になりました。山海留学生として，祖母との生活や口之島の大自然や伝統文化など，たくさんのことを学ぶことができました。交流学習や修学旅行などを通じて，他の島の同級生とも仲良くなり，友だちもできました。大人になっても忘れません。３年間，とても楽しかったです。ありがとうございました。

平島中学校諏訪之瀬島分校３年
原　愛美さん

中学校では、修学旅行や遠足、テレビ会議などで他の島の生徒と交流をすることができてうれしかったです。また、島民の方々から地域行事をとおして声をかけていただき、楽しく過ごすことができました。今までありがとうございます。将来は、自分の好きな文学に関する仕事をやりたいです。これからの高校生活も頑張ります。

中之島中学校３年
伊東　明香さん

私は，15 年間中之島で生まれ育ってきました。この間，地域の方々からは可愛がっていただき，両親にも何不自由なくここまで育ててもらい，とても感謝しています。

春からは，この生まれ育った島を離れての生活が始まりますが，将来の夢である「食」にたずさわる仕事に就きたいという目標をもってがんばりたいです。

地域の方々，先生方，今まで本当にありがとうございました。

また，これからもよろしくお願いします。

卒業生の皆さん、卒業

宝島中学校３年
牧口　優花さん

私の将来の夢は、宝島に貢献することです。具体的にやってみたいことは、宝島に山海留学生を受け入れる施設を作ることです。なぜその思いに至ったかというと、いくつか理由がありますが、そのうちの一つに、宝島小中学校を失くしたくないという想いがあります。少子高齢化の今、将来のことを考えると児童生徒がいなくなってしまいます。宝島の未来のためにも、存続させなくてはならないと思います。そのために私は、高校生活で多くの経験を積み重ね、たくさんの考えを吸収し、社会で生きていく上で必要な知恵と、行動力を身につけていきたいです。宝島での生活は、毎日が充実していました。私をここまで育て、導いて下さった地域の皆様や、家族。私の想いを受け入れ、時には厳しく、時には優しく指導して下さった先生方、私が悩んでいる時もいつも側にいて支えてくれた友達、全ての人に感謝して、これから羽ばたいていきたいです。

宝島中学校小宝島分校３年
刈谷　飛秋さん

僕は中学２年生の１学期に小宝島分校に転校して来ました。山海留学生の僕を児童生徒、先生、島民の皆さんは温かく見守ってくださいました。僕がこうして卒業を無事に迎えることができたのも里親さんとなった多摩江さんをはじめとする島民の方々や先生方のおかげだと思って感謝しています。島民の方々、先生方今までありがとうございました。

平島中学校諏訪之瀬島分校　３年
伊東　智崇さん

僕の将来の夢は看護師です。そのため、これからは人とのつき合い方や接し方に気をつけていこうと思います。このことは今までまったく考えていませんでしたが、先生方のおかげで考え、学ぶことができました。また島民の方々と体育大会や色々な行事を行うことはとても楽しくとても良い思い出になりました。島民の方々、先生方今までありがとうございました。これから島の外に出てしっかりと看護師のことを学び、いつか諏訪之瀬島に帰ってきて力を尽くしたいです。

宝島中学校小宝島分校
３年
里中　唯さん

たくさんの友達に囲まれ、いろいろな話をして過ごす、勉強はもちろん好きな部活に熱中する毎日。これが私の想像していた中学校生活でした。しかし「いつもみんなの手本でなければならない」というプレッシャーを感じる小さな島での中学校生活に戸惑うことばかり。慣れない島での生活も加わり涙を流す日もたくさんありました。そんな時、落ち込む私と真剣に向き合ってくれた先生、いつも笑顔で私に接してくれた島民の方々、時に厳しく、時に優しく私を支えてくれた家族がいてくれたから、色んな困難を乗り越えてこれました。そして、たくさんの方々の温かさに触れ、大きく成長できました。皆さん、本当にありがとうございました。私にとって小宝島での中学校３年間は宝物です。

十島村長・十島村議会議員選挙結果について

選挙管理委員会からお知らせします

平成24年4月29日に執行された十島村長選挙並びに十島村議会議員選挙につきましては、皆さまのご理解とご協力を賜り、大きな問題もなく無事に選挙を執行することができました。選挙の結果は次のとおりです。

十島村長・十島村議会議員選挙投票結果

当日有権者数　496人
投票者数　475人
棄権者数　21人
投票率　95.77%

十島村長選挙結果

ひご　まさし　無投票　当選

十島村議会議員選挙結果

永田　和彦	64票	当選
日高　スケヒロ	55票	当選
日高　トオル	54票	当選
日高　久志	51票	当選
松下　直志	51票	当選
平泉　二太	51票	当選
有川　和則	50票	当選
前田　功一	48票	当選
田中　秀治	40票	
日高　利成	10票	

また、本年度は次のように選挙が控えております。今後とも皆さまのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○　鹿児島県知事選挙執行予定　○

告示日	平成24年6月21日(木)
投票日(3日繰上)	平成24年7月5日(木)
開票日	平成24年7月8日(日)

○　海区漁業調整委員会委員選挙執行予定　○

告示日	平成24年7月24日(火)
投票日(3日繰上)	平成24年7月30日(月)
開票日	平成24年8月2日(木)

5月14日（月）子牛せりが行われました！

5月14日(月)、鹿児島中央家畜市場にて、子牛のせりが行われました。

十島村の出荷牛での最高額は、松下征克さんの43万2千円でした。

△写真は、松下征克さんの牛

せりの日には、敷根村長も来られ、今までの十島村の畜産の話し等をし、市場に来られていた十島村の畜産農家の方々を激励しました。

△写真は、敷根村長の話しの様子

平成24年5月14日(月)　子牛せり結果

	出荷頭数			最高価格	
	去勢	雌	計	去勢	雌
登　記	21	16	37	432,000 （松下　征克）	379,000 （山之上　満）
一般牛	1	3	4	251,000 （有川　浩一）	253,000 （平田　伊佐美）
総　計	22	19	41		

十島村海上輸送費支援事業（仮称）のお知らせ

離島振興、離島への定住促進を図る上での最大の課題は生活物資等における海上輸送費の負担が大きいことです。このことから、村では鹿児島県特定離島ふるさとおこし推進事業（県単独補助事業）を活用し、十島村をモデル地域として、生活物資の海上輸送費の補助を平成２４年８月からスタートさせる予定にしております。

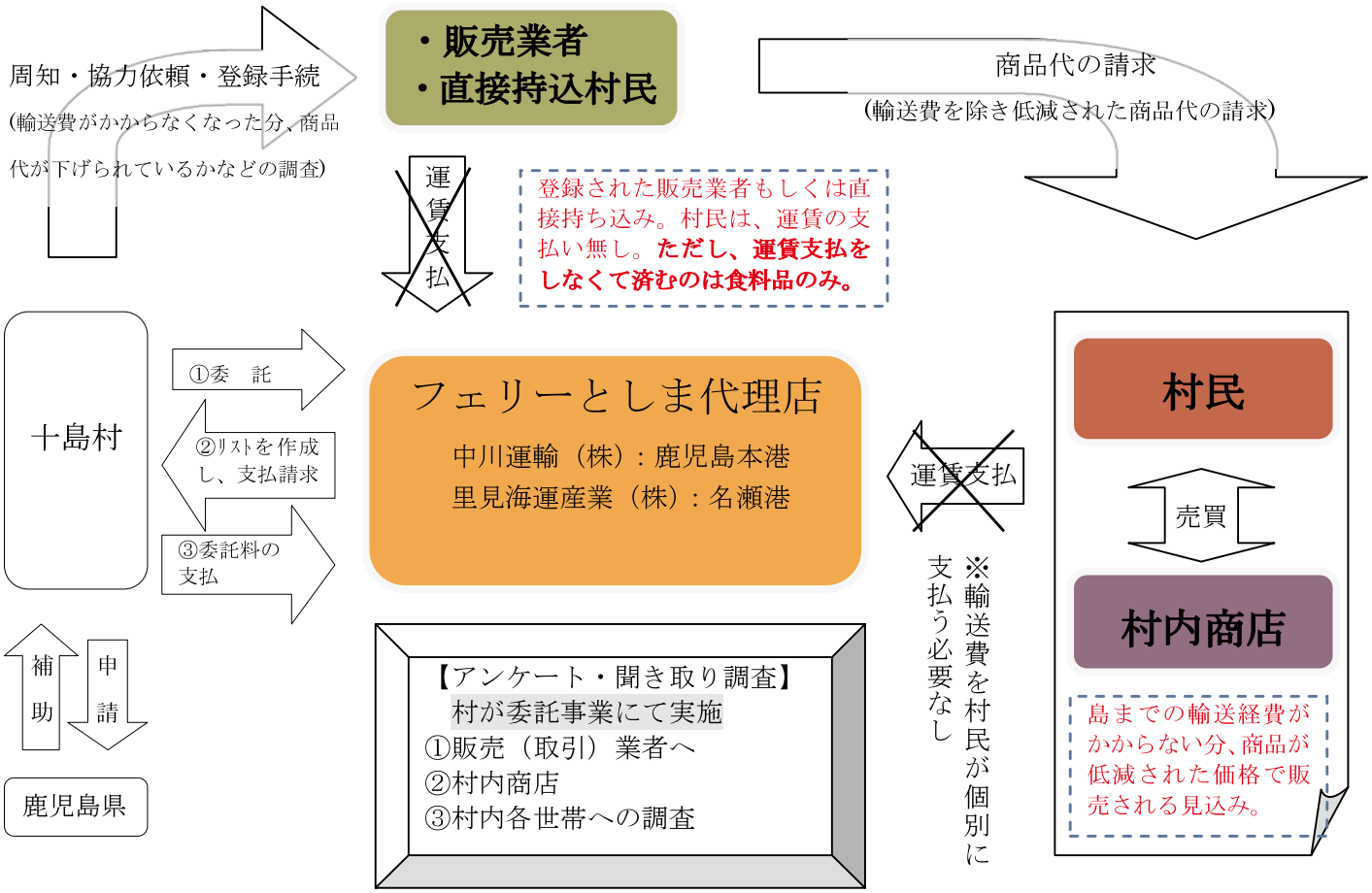
補助事業の流れについては、下記イメージ図のとおりですが、村民向けの食料品を持ち込む業者（事前に村への登録申請が必要）は、貨物受付所で食料品にかかる船運賃を支払う必要が無いということです。このことから、食料品にかかる輸送費が軽減され、住民の海上輸送費にかかる負担が軽減されることになります。

平成２４年度は、運賃補助と併せて、委託事業にて村民及び食料品取扱業者等を対象にした聞き取り調査も実施する予定にしております。平成２５年度以降の国、県の補助事業を活用しての本格的な運用と食料品以外の生活物資への補助対象の拡充を図っていければと考えていますので、村民の皆様のご理解をよろしくお願いします。なお、本事業において、村民が直接何か手続きをするということは予定していません。

＜本事業に関する問合せ先＞　：　十島村役場経済課地域振興室

十島村　輸送コスト補助事業のイメージ（案）

※H24 の補助対象は、食料品の運賃に限られます。



通年（実際はH24 年 8 月～H25 年 3 月までの 8 ケ月を予定）で実施した結果を検証し、食料品以外の生活物資についても検討し、村民が暮らしやすく、定住しやすい環境づくりを目指します。

介護保険料が改定されました

平成２３年度中に「十島村高齢者保健福祉計画および第５期介護保険事業計画（平成２４年度～平成２６年度）」を策定しました。「第５期介護保険事業計画」では、これまで以上に人材育成を行い、村内で介護サービスが利用できるような取り組みを行っていく予定です。

また計画の見直しに併せて介護保険料も見直しを行っており、「第５期介護保険事業計画」期間中の介護保険料が決定しました。平成２４年度からは、全国的に介護保険料の引き上げが予想されていますが、本村においても介護保険料を引き上げざるを得ない状況となっています。

【平成２４年度から平成２６年度の介護保険料】

段階	対象者	介護保険料	基準額に対する割合	住民税の課税状況	
				世帯	個人
第１段階	・生活保護受給者 ・住民税非課税世帯に属する老齢福祉年金受給者	年額 28,800 円 月額 2,400 円	0.5	非課税	非課税
第２段階	住民税世帯非課税者で年金収入額と合計所得金額の合計が **80 万円以下**の者	年額 28,800 円 月額 2,400 円	0.5	非課税	非課税
第３段階	住民税非課税世帯に属し、 **第２段階以外**の者	年額 43,200 円 月額 3,600 円	0.75	非課税	非課税
第４段階（基準額）	**本人は住民税非課税者であるが、同じ世帯の中に住民税 課税者がいる者**	**年額 57,600 円 月額 4,800 円**	**1.0**	**課 税**	**非課税**
第５段階	本人が住民税課税者で、合計所得金額が **190 万円未満**の者	年額 72,000 円 月額 6,000 円	1.25	**課 税**	**課 税**
第６段階	本人が住民税課税者で、合計所得金額が **190 万円以上**の者	年額 86,400 円 月額 7,200 円	1.5	**課 税**	**課 税**

平成２４年度からの介護保険料の大幅な上昇を抑制するために、村が保有する介護給付費準備基金を例年より多く取り崩し、介護保険料に充当しています（３年間で８００万円を取り崩し、月額１，５５８円の軽減効果）。介護保険料引き上げの主な要因としては、以下のことが挙げられます。

介護給付費の増大見込み

・要介護（支援）認定者の増加見込みによる介護サービス利用の増加。
・介護サービスの利用増に伴う介護給付費の増大。

介護保険料軽減措置の終了

・平成２３年度までは、国から交付された介護従事者処遇改善臨時特例基金により、介護保険料の急激な上昇を抑制していたため、第４期介護保険事業計画期間の保険料は実ベースよりも低く設定されていましたが、平成２４年度からはこの軽減措置がなくなります。

法改正の影響

・平成２４年度から第１号被保険者（６５歳以上）保険料の負担割合が２０％から２１％へ増加。
・介護報酬が平成２３年度までよりも＋１．２％引き上げとなり、その分介護給付費も増大し、介護保険料に影響してきます。

今後も限られた財源で健全な運営ができるように、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。
また介護保険料は３年間の介護給付費の総額を見込んで決定します。**高齢者が介護予防に取り組み、できる限り元気で暮らすことが給付費の増大を抑制し、保険料の上昇抑制にもつながります。日頃から「とからいきいき教室」や地域包括支援センター主催の健康教室、年１回の機能訓練やその後の看護師および保健師による個別指導等、介護予防教室に積極的に参加したり、適度な運動や体操を実施する等、介護予防に努めましょう。**

「とからいきいき教室」にぜひご参加ください！！

本村では、高齢者が機能の低下により閉じこもりがちになり、要介護状態に陥ることを防ぎ、高齢者自身が持っている能力を最大限に生かして、住み慣れた島と我が家で生活していけるよう、住民同士の支え合いを原点に地域ぐるみで取り組む健康づくり事業として「とからいきいき教室」を開催しています。教室運営は、各島のとからいきいき教室運営委員や食生活改善推進員、運動普及推進員等のボランティアの方が中心となって実施しています。

対象者

- ☆　概ね６５歳以上の高齢者
- ☆　要支援・要介護状態となる恐れのある高齢者
- ☆　その他地域住民の方

（子供から大人まで、誰でも参加できます）

主な内容

- ☆　介護予防に関すること（体操、認知症予防、口腔機能向上、栄養改善等）
- ☆　レクリエーション
- ☆　季節の行事（運動会、クリスマス会、ピクニック等）

など、運営委員の方々が趣向をこらした活動を実施しています。

※健康づくりや様々な年代の地域の方との交流ができる場でもありますので、幅広い世代の方のご参加をお願いいたします。

お問い合わせ先　住民課健康福祉室　介護係　℡099-222-2101

○お　知　ら　せ○

○ 高 齢 者 特 別 乗 船 券 の交付が**平成 24 年 6 月 1 日**から次のようになります。

・今まで、年４回だった高齢者特別乗船券の交付が**年 12 回**になります。

○ 特 殊 治 療 を要する住民への **運 賃 補 助** が**平成 24 年 6 月 1 日**から始まります。

・特殊治療を要する住民の定期船運賃が**1／2**になります。（別途申請が要ります）

※ここでの特殊治療とは、抗がん剤治療、難病（特定疾患）の特殊治療、Ｃ型肝炎の特殊製剤治療、腎臓透析のことを指します。

お問い合わせ先　住民課健康福祉室　福祉係　℡ 099-222-2101

【中之島】 小峯さん一家

小峯　隆生　（42 歳）
妻・順子　（41 歳）
～平成 24 年 4 月移住～

Q，定住の決め手を教えてください。

中之島の自然の豊かさと水の美味しさです。また、歴民館・天文台の管理者という仕事に魅力を感じました。

Q，これからの目標、夢を教えてください。

開発センター・歴民館・天文台の管理をしっかりこなし、NPOトカライン―フェイスの活動を評価されるように、頑張っていきます。個人的には、鳥類がとても豊富な島なので、中之島の鳥をすべてガイドできるようになりたいです。天文台も、本当に素晴らしい設備なので、島民の方（特に小中学生に）、利用してもらえる機会を作っていきたいと思います。また、ホームページを作り、トカラの素晴らしさを情報発信していきたいと考えています。

土石流・山崩れ災害についてのお知らせ

～気象情報、防災無線の情報に注意し、早めの避難を心掛けましょう～

近年、村内をはじめ、多くの地域で梅雨期の豪雨や台風により、多くの山地災害が発生しています。

雨の日等は気象情報や防災無線の情報に十分注意し、早めの避難を心がけましょう。

特に雨が降っているときに土石流や山崩れの前兆現象を感じた場合や、村等から避難の連絡があった場合には、速やかに避難所へ避難しましょう。

また、記録的な豪雨が予想される場合は、今までにない規模の災害が起こる危険性があります。雨が降り止んだ後でも、土石流、山崩れが発生することもありますので注意しましょう。

今年も、梅雨期を迎えます。一人ひとりが自覚を持つとともに、互いに助け合い、事故等のないよう注意しましょう。

土石流の前兆

- 山鳴り、立木の裂ける音、石のぶつかりあう音が聞こえる。
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
- 川の水が急に濁ったり、流木がまざりはじめる。

山崩れの前兆

- わき水の量が増える。
- 枯れることのないわき水が止まる。
- わき水が濁る。
- 山の斜面を水が走り始める。
- 地鳴りの音が聞こえだす。
- 山の斜面に亀裂が走る。
- 山の木が傾く。
- 石が転がり落ちてくる。

島担当職員　※（　）…担当課名

4／1より各島担当職員が下記のとおり変更となっております。

【口之島】
- 安藤　巧（住民課村民室長）
- 本砥　貴子（住民課健康福祉室）
- 有川　孝志（総務課総務室）
- 迫田　洋平（総務課総務室）

【中之島】
- 上村　晋一（経済課航路対策室長）
- 平山　太志（経済課地域整備室）
- 中野　豪（総務課政策推進室）

【平　島】
- 日高　尚子（総務課政策推進室長）
- 隈元　仁志（経済課地域振興室）
- 三島　光太朗（経済課地域振興室）

【諏訪之瀬島】
- 肥後　亘（経済課地域振興室長）
- 町田　敬輔（住民課村民室）
- 谷村　竜己（経済課地域振興室）

【悪石島】
- 肥後　勇喜（経済課地域整備室長）
- 大山　茜（住民課健康福祉室）
- 清川　健（経済課航路対策室）

【小宝島】
- 伊瀬知　智子（住民課健康福祉室長）
- 日高　広登（教育委員会教育総務室長）
- 新納　一基（経済課地域振興室）

【宝　島】
- 村山　勝洋（総務課総務室長）
- 國生　康弘（経済課地域整備室）
- 平田　直巳（住民課村民室）
- 安庭　智美（出納室）

新規採用　出張員紹介【平成24年4月1日付】

小宝島出張員

中村（なかむら）　勝都志（かつとし）
（昭和54年生）

出張員という職に就くうえで、小宝島島民のみなさんとのコミュニケーションを大切にし、しっかりとした信頼関係を築き、行政と小宝島のパイプ役になれる様に努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

退職職員のお知らせ

昨年3月に職員が1名、出張員1名が退職されました。また、5月15日には、村長の退任に合わせ、副村長が退任されました。長い間お疲れ様でした。

十島村副村長　福満　征一郎
平成24年5月15日退任

福満　征一郎

去る5月15日をもちまして十島村副村長の職を退任いたしました。在任中は一方ならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成16年10月25日より副村長となって以来、7年7月に渡り、敷根村長の下で村政の発展に力を尽くして参りました。これまでの村政を振り返りますと、十島村の地理的な特異性からくる課題との戦いであったと思います。その特異性によりナショナルミニマム（国家が国民に対して保障する生活の最低限度）の達成すら困難な状況にある十島村にとって、県や国による支援は必要不可欠です。同じような条件下にあり、奄振法（奄美群島振興開発特別措置法）等の支援のあった奄美群島と比べ、十島村は過酷な環境であると言わざるを得ません。しかし、その一方でそのような過酷な環境からか、人と人とのつながりが薄くなっている現代において、十島村は、村民同士の助け合い、協力関係が強く根付いています。今世紀最大のイベントといえる2009年の皆既日食において、大きな混乱もなく、多くの観測客を受け入れることができたのは、間違いなく村民の皆様のご協力、地域の絆あってこそのものだと思います。2010年の十島村でのブロードバンドの整備により、十島村の通信事情は大きく変わりました。ブロードバンドは、地域格差を解消する大きな助けとなるものであり、これからの十島村の発展に大いに利用していただきたいと思います。そうは言っても十島村のナショナルミニマムの達成には未だ多くの課題があります。その課題の解消に向け、これからの新村長、そして職員の皆さんには尽力していただきたいと思います。任期途中での退任ではありますが、私を副村長に選んでいただいた敷根村長と共に退任することにいたしました。これからの村政の発展、村民の皆様のご多幸を心より祈念し、退任の挨拶に代えさせていただきます。

フェリーとしま船員　加治　幸司
平成24年3月31日定年退職

小宝島出張員　俣木　信幸
平成24年3月31日定年退職

村営定期船

フェリーとしま

鹿児島 ↔ 十島村 ↔ 名 瀬

十島村航路対策室
TEL 099-222-2101
フェリーとしま
TEL 090-3022-4523

平成 24 年 6 月予定

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
出		入	出		入出		入出		入	出		入		出		入	出		入		出		入	出		入		出	
名瀬便／新			宝島便		宝島便		名瀬便／新			宝島便				名瀬便／新			宝島便				名瀬便／新		宝島便				名瀬便／新	

地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、高齢者の方の身近な相談窓口であり、保健師や看護師等が、互いに連携をとりながら支援を行っています。

介護や健康のこと
- 要介護認定の申請に関すること
- 介護予防教室の実施

様々な相談ごと（総合相談窓口）
- 介護に関すること
- 医療・健康・福祉に関すること

お気軽にご相談ください！

権利を守る（権利擁護）
- 高齢者虐待に関すること
- 成年後見制度に関すること

自立して生活できるために
- 様々な関係機関とのネットワークづくり

○介護予防教室を開催しています

①「とからいきいき教室」の開催

概ね月に１回、各島で「とからいきいき教室」を開催しています。活動内容は各島それぞれ異なりますが、体操やレクリエーション、会食、季節の行事等をボランティアの運営委員が中心となって行っています。

②診療所看護師による健康教室の開催

概ね週に１回、各島の看護師による健康教室または、要介護状態となる恐れの高い高齢者に対して、訪問による機能訓練や健康チェック等を行っています。

お問合せ先　住民課健康福祉室　介護係

村の人口・世帯数

平成 24 年 4 月末現在

島　名	男性	女性	人口	世帯
口之島	60	65	125	84
中之島	78	63	141	87
平　島	38	27	65	37
諏訪之瀬島	33	26	59	31
悪石島	26	33	59	33
小宝島	31	30	61	32
宝　島	61	52	113	69
合　計	327	296	623	373

編集／発行…十島村総務課広報係
〒892-0822　鹿児島市泉町 14-15
TEL　099－222－2101 ／ FAX　099－223－6720

地域のひとこま

5/19（土）、口之島にて老人クラブの呼びかけで 1 年ぶりにゲートボール・ソフトボール大会が開かれました。